

平成25年度琉球大学公開講座

沖縄の健康長寿と地域医療 —長野に学ぶ地域保健対策—

特別講演

「農民とともに」の心で —佐久総合病院の活動—



講師 JA長野厚生連 佐久総合病院

副院長 西澤 延宏(にしざわ のぶひろ)先生

日時 平成25年7月21日(日) 14時~16時20分(開場13時30分)

会場 タイムスビル3階タイムスホール(那覇市久茂地2-2-2)
※お車でお越しの方は近隣のコインパーキングをご利用ください

対象 一般市民 約350名 **入場無料**

* その他講演 * (プログラム詳細は裏面参照)

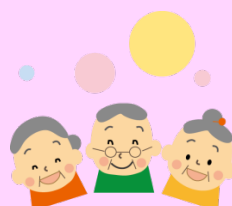
講演①「沖縄の地域の絆と健康づくり」白井こころ(法文学部 准教授)

講演②「沖縄の食環境の変遷」等々力英美(医学部 准教授)

講演③「地域医療を担う医学生」小宮一郎(医学部 教授)

総合討議 座長 大屋祐輔(医学部 教授)

健康長寿日本一の長野県から
講師をお呼びしました! 長野と沖縄との
地域保健の差はどこにあるのでしょうか?



みんなで
健康長寿
沖縄復活の秘策を
考えましょう!!

*主催: 琉球大学医学部附属病院 地域医療システム学講座

*共催: 同 おきなわクリニカルシミュレーションセンター・同 地域医療教育開発講座
同 地域医療部・同 医学教育企画室・沖縄内科学学術研究振興会・沖縄タイムス社

沖縄はなぜ長野に負けたのか!?

沖縄の平均寿命の県別ランクの低下が発表され、10年前の「26ショック」以上の衝撃をもたらしました。沖縄県民の生活習慣の問題や肥満率の高さの是正が取りざたされています。

しかし、健康長寿危機の原因を県民の生活習慣のみに帰すのではなく、沖縄県の地域医療体制の問題や行政の関わり、さらには沖縄県の社会的状況からの検討が必要となっています。

戦後すぐに地域住民の健康管理に取り組んだ長野県佐久総合病院の地域医療での取り組みは、その後長野県全域に及び、今日の健康長寿日本一に大きく関与しました。佐久総合病院並びに長野県の地域医療の取り組みを中心に、長野と沖縄での地域保健の現状を認識することは、健康長寿沖縄を復活させるためにも重要なこととなります。そこで、長野県佐久総合病院の西澤医師をお招きし、県内外の講師による講演とシンポジウムを企画しました。

プログラム

- 14:00～14:05 開会のことば 大屋 祐輔(琉球大学医学部 教授)
- 14:05～14:55 特別講演 西澤 延宏(佐久総合病院 副院長)
- 14:55～15:05 ～ 休憩 ～
- 15:05～15:30 講演①「沖縄の地域の絆と健康づくり」 白井 ころこ(琉球大学法文学部 准教授)
- 15:30～15:45 講演②「沖縄の食環境の変遷」 等々力 英美(琉球大学医学部 准教授)
- 15:45～16:00 講演③「地域医療を担う医学生」 小宮 一郎(琉球大学医学部 教授)
- 16:00～16:15 総合討議 座長 大屋 祐輔(琉球大学医学部 教授)
- 16:15～16:20 閉会のことば 奥村 耕一郎(琉球大学医学部 准教授)



地域において学ぶ医学生たち

沖縄の健康長寿危機の問題とは別に、離島や北部地域での医師不足は深刻な状況にあり、地域医療再生が推し進められています。このような流れの中で、大学の所在地出身学生のための地域枠定員が医学部に設けられています。琉球大学では、地域医療部、地域医療システム学講座と地域医療教育開発講座が地域枠学生の教育を主に担当しています。

現在、医学部1～4年生の各12名と、5年生7名の地域枠学生たちが地域医療を学ぶ機会を多く持ち、県内外で実際の医療現場に臨んでいます。写真は今年2月の長野県佐久総合病院での実習の際のものです。8年後には約100名の地域枠学生が県内で働く事になり、彼らが地域で保健活動などを指導する時代には沖縄の健康長寿を復活できます。彼らは地域医療を支え、健康長寿を復活する切り札になりうる存在となっています。

会場までの 交通アクセス



私たちは将来、
沖縄県の地域医療を
担い、健康長寿復活
に貢献します!!

